

公益社団法人 日本経営工学会  
第 34 期第 12 回理事会議事録

日 時：2019 年 5 月 18 日(土) 14:00～17:45

場 所：東京都市大学渋谷サテライトクラス

出席者：(理事) 石井和克, 開沼泰隆, 内田耕平, 大久保寛基, 外館晃, 中出康一, 西岡久充,  
八木英一郎, 片岡隆之, 辻村泰寛, 中島健一, 西村泰一  
(監事) 河野宏和, 皆川健多郎

欠席者：(理事) なし

### 議決事項

#### 1. 入会承認の件

会員担当理事より、(資料：12-1)に基づき、正会員 9 名、学生会員 1 名、賛助会員 2 社、賛助正会員 1 名の入会申請が報告され、全会一致で承認された。

#### 2. 収支相償の件

財務担当理事より、(資料：12-2)に基づき、収支相償についての説明がなされた。2018 年度経常増減額が黒字となり収支相償を満たしていないため、2019 年度以降に収支差額分を支出超過する必要がある。2019 年度以降も解消できない、あるいはその見込みが高い場合には、「特定費用準備資金への積立」等の対策を講じなければならない。しかし 2019 年度は各種委員会等にて予算案をかなり抑えた経緯もあることから、実算に対する不足額への補填を行う可能性がある。さらに 2019 年度はこれからの学会の発展に向けた積極的な投資の検討によって支出超過になることも予想される。これらのことから、2019 年度には黒字が解消する旨を内閣府に報告することが全会一致で承認された。

#### 3. その他 なし

### 協議事項

#### 1. 寄附金取扱細則について

庶務担当理事より、(資料：12-3)に基づき、寄附金取扱細則案が提示され、全会一致で承認された。また、学会ホームページに寄附金募集ページを作成するかどうかの検討を始めることが確認された。なお、規程類が役員間で共有されていない、あるいは期が変わる際に規程類の引継ぎがうまくできないという問題提起がなされ、今後の検討課題として、次期へ引き継ぐこととなった。

#### 2. Best Presentation Award 要領一部改訂について

表彰担当理事より、(資料：12-4)に基づき、Best Presentation Award 要領の改定案が提示され、全会一致で承認された。併せて学会ホームページにも改訂内容を掲載することが確認された。

#### 3. 研究部門運営細則の改正について

研究担当理事より、(資料：12-5)に基づき、研究部門運営細則の改訂案が提示された。第 12 条 2 項の「部門長任期は 2 期まで・・・」を「部門長任期は原則 2 期まで・・・」とすること、部門長の申し出により理事会の議を経て、1 期に限り延長できることが全会一致で承認された。また、

改正日は2019年5月18日とするが、正式な文言修正については研究委員会に一任し、再度検討したうえで理事会として追認することが全会一致で承認された。

#### 4. 会員制度改定の検討について

会員担当理事より、(資料：12-6)に基づき、会員制度改定の検討案が提示された。「(仮称)研究室会員」については、学生の大会への参加を促進することにつながる可能性があるが、現時点では研究室単位での会費の支出は難しく、学生会員の運用・管理も煩雑になるのではとの意見が出され、「(仮称)研究室会員」制度は困難であるとの結論に至った。「(仮称)会員特権の新設(紹介制度)」については、離職とともに退会する正会員の退会抑止や正会員の入会促進につながる可能性があるが、70歳以上の正会員に限らず、すべての会員に適応しても良いのではないかな等の意見が出され、今後の検討課題として、次期へ引き継ぐこととなった。

#### 5. JIMA 会員特権の HP 内容の検討について

会員担当理事より、(資料：12-7)に基づき、JIMA 会員特権の HP の内容についての検討案が提示された。①「特権」を「特典」、「無料で招待する」を「無料で参加できる」に変更すること、②「論文奨励賞」について正会員と学生会員の特典となっているが、正会員のみの特典であることを明記することを条件に全会一致で承認された。また、学会ホームページを速やかに更新することも確認された。

#### 6. その他 なし

### 報告事項

1. 会員担当理事より、(資料：12-1)に基づき、退会についての報告がなされた。
2. 大会担当理事より、(資料：12-8)に基づき、2019年春季大会、2019年秋季大会予算案についての報告がなされた。
3. 人材育成担当理事より、(資料：12-9)に基づき、第34期における人材育成担当理事としての2年間の活動実績と反省、第35期への引き継ぎ事項についての報告がなされた。
4. 企画・行事担当理事より、(資料：12-15)に基づき、第4期産学連携研究交流会の企画・準備状況と第3期産学連携研究交流会総括についての報告がなされた。
5. 国際渉外担当理事より、(資料：12-10)に基づき、APIEMS2019についての報告がなされた。
6. 国際渉外担当理事より、(資料：12-11)に基づき、協賛行事報告がなされた。
7. 論文誌編集担当理事より、(資料：12-12)に基づき、掲載料・別刷代請求一覧についての報告がなされた。
8. 監事より、(資料：12-13)に基づき、2018年度会計監査結果に関する報告がなされた。
9. 開沼副会長より、(資料：12-16)に基づき、創立70周年記念事業についての次期への引き継ぎ事項に関する報告がなされた。
10. 大久保理事より、2019年度第1回FMES代表者会議報告として、①2018年度決算、2019年

度予算が承認されたこと、②事務局が品質管理学会から日本オペレーションズ・リサーチ学会へ移管(2019年度から3年間)されること、③2019年度JABEE審査(新規・継続)の予定はないこと、④2019年度FMESシンポジウムの担当はプロジェクトマネジメント学会の予定であることの説明がなされた。

- 11 代表理事より業務執行状況について報告がなされた。まず石井会長から(資料：12-14)に基づき報告がなされた。開沼副会長からは、収支決算報告資料の作成と財務委員会での検討、及びみなし決議による収支決算報告の承認、各種支払い申請書の承認、会計監査への立ち合い、APIEMS2019実行委員会への資金貸与、70周年事業準備委員会での引き継ぎ資料の作成などを行った旨の報告がなされた。内田副会長からは、会員委員会の開催、事務局との会員権利喪失者への対応、会員の特典関係のとりまとめ、日本技術士会からの問い合わせ対応、ConComからの問い合わせ対応などを行った旨の報告がなされた。

## 12. その他

- 庶務担当理事より、第34期第12回理事会議事録承認の件について、以後第34期理事会が開催されないためにメールにて審議することが報告された。
- 石井会長から第34期理事会の総括が述べられた後、各理事からも総括及び引き継ぎのポイントについての報告がなされた。

議 長 石井 和克 印

議事録署名人 河野 宏和 印

議事録署名人 皆川 健多郎 印